

TOKYO NEW FARMER'S REAL!

東京都内新規就農者のリアル

地域のつながりと サツマイモに 魅せられて。

FARMER'S FILE. OZAWA AKINORI

あきる野市

小澤 揚徳



自宅にあったサツマイモが 就農のきっかけ

岡山県生まれで、両親の転勤により10歳の時から東京に住んでいます。就農したのは、2020年の秋。11月ぐらいなので、ちょうど2年半が過ぎたぐらいですね。

もともと独立して仕事をしたいと学生時代から思っていて、30歳を目前にして動き出しました。たまたま家で好物だったサツマイモを料理していた時に「これを作ろうかな」と思ったのが、就農のきっかけです。

東京でも就農ができる

2010年に、埼玉県農業大学校に入学し、当時あたらしい品種であった「紅はるか」の美味しさと出会い、よりサツマイモ農家になりたいという想が強くなりました。

同じ時期に、現在の農地のすぐ近くにあるJR武蔵引田駅の目の前で、サツマイモの農業体験をして、農業体験の楽しさやあきる野

市のエリアの立地の良さを知り、都内での就農に気持ちがシフトチェンジしました。

就農まで10年の熱い想い

農業大学校を卒業し、すぐの就農は難しかったですね。その後、茨城県や瑞穂町などで研修をしたりしていました。それから、あきる野市の法人経営の農園で農場長を務めたり、日の出町観光協会が運営するサツマイモ体験農園を請け負うことで、就農に向けて多くの経験を得ることができました。

今は、サツマイモ農家として認知してもらえるようになり、地元直売所やスーパー、ヤキイモ屋さんや個人の方に注文をいただいています。



地域との交流を大切に

去年から地域の体育館などで、ヤキイモの販売をはじめました。その地域で必要とされているところにも卸していけたらと。

秋のシーズンには、ヤギを放したり、演奏家を呼び、畑で音楽を聞きながらヤキイモを食べたり、収穫体験ができるイベントを開きました。いちどに30~40人も集まってくれたり、とても盛況でした。

これからも地域との繋がりを大切にしながら、美味しいサツマイモをつかって、農業経営に取り組んでいきたいと考えています。

東京NEO-FARMERS!

